

ダンジオーラE下塗 さび面対応弱溶剤形高遮断性変性エポキシ樹脂下塗り塗料

□ 特 長

- ・さび面への付着性にすぐれています。
- ・さびを完全に除去出来ないところ、さびやすい部位の防錆性を向上します。
- ・残存塩分は150mg/m²まで許容できます。
- ・高い遮断性により、塩害環境でも優れた防錆性を発揮します。
- ・-5 から塗装が可能です。

□ 塗 料 性 状

塗料液		硬化剤
色		淡黄色
密度(g/cm ³) (23)		1.34 (混合塗料) 1.36 (混合塗料液) 0.91(硬化剤)
光	沢	-
引	火 点	33
発	火 点	47
消 防 法	化 学 名	合成樹脂エナメル塗料
表 示	危険物区分	合成樹脂クリヤー塗料
	危険物等級	第4類 第2石油類(非水溶性)
有 機 溶 剤 区 分	III (火気厳禁)	第4類 第2石油類(非水溶性)
毒 劇 物 表 示	第3種	III (火気厳禁)
有 害 物 表 示	第3種	-
ホルムアルデヒド	登録(認証)番号	N02375
放散等級	区 分 表 示	F
国 連/指 針 番 号	問 合 せ 先	https://toryo.or.jp
	1263/128	1866/128
環 境 性 能	鉛	配合せず
	カドミウム	配合せず
	水銀	配合せず
	クロム	配合せず
T	V	O
C		27%

- ・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。
- ・加熱残分(%)：73 (ホワイト混合塗料) 75 (ホワイト塗料液) 28 (硬化剤)

□ 塗 装 基 準
下 地 調 整 :

- ・プラスト処理後、ジンクリッチプライマー(ニッペジンキー8000メタルグレーまたはニッペジンキー1000Pなど)を塗装した上に塗装することができます。
- ・ジンクリッチの損傷箇所・溶接部分等について2種ケレン(ISO St3)のケレンを行えば直接補修用として使用できます。
- ・発錆部は、手工具、電動工具などを使用し、浮きさびを除去してください。
- ・層状さびなどの厚みのあるさびについては、厚みが100μm以下にしてください。
- ・発錆部については、必ず補修塗りを実施ください。
- ・旧塗膜は、脆弱部所については完全に除去し、活膜部はサンドペーパーやナイロン不織布研磨材などを使用して研磨し、油分はシンナー拭きして除去してください。
- ・水洗い等の処置により、残存塩分が150mg/m²以下へ調整してください。
- ・補修塗り及び除錆方法の詳細は注意事項を参照ください。
- ・2液形のため、「塗料液：硬化剤=95：5(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
- ・20kgセット(塗料液：硬化剤=19kg：1kg)、2kgセット(塗料液：硬化剤=1.9kg：0.1kg)
- ・6時間(23)、6時間(5)、6時間(30)
- ・塗料用シンナー-A

混 合 :
荷 姿 :
ポットライフ :
希 釈 剤 :
塗 装 方 法 :

塗 装 方 法	はけ、ローラー塗り	エアレスブレー塗り
希 釈 率	0~5%	0~5%
使 用 量	0.20kg/m ² /回	0.24kg/m ² /回
膜厚(ドライ)	60μm	60μm
膜厚(ウェット)	110μm	110μm

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- ・一次圧0.4~0.5MPa 二次圧12MPa以上 チップNo.163-617、619など

エアレス条件 :
乾 燥 時 間 :

	5	23	30
指 触 乾 燥	3時間	2時間	1時間
半 硬 化 乾 燥	6時間	4時間	3時間
塗 り 重 ね 乾 燥	16時間以上10日以内	8時間以上10日以内	6時間以上10日以内

- ・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。
- ・-5 の場合は、指触乾燥：4時間、半硬化乾燥：16時間、塗り重ね乾燥時間：36時間以上10日以内です。

□ 注 意 事 項

- ・発錆部については、必ず補修塗りを実施ください。
- ・層状さびなどの厚みのあるさびについては、厚みが100 μ m以下にしてください。
- ・層状さびなどの厚みのあるさびに対して塗装した場合、塗膜によるさび下の腐食抑制は難しく、層状さびごと塗膜剥離に繋がる可能性があります。層状さびは除去したうえで塗装ください。
- ・突起部やエッジ部において、層状さびやさびの凹凸が残っていると、それらの部位を起点にさびが発生することがあります。突起部やエッジ部については、特に、入念にさびの除去を実施ください。
- ・使用量、希釈率はしっかりまもってください。特にさびが発生しやすい突起部やエッジ部の塗付け量に注意してください。また、さびの凹凸に対しては、透けや塗り残しのないようにご注意ください。
- ・さびの凹凸が大きい場合、塗料の染み込みにより膜厚不足になる場合があります。さびの頭出しがある場合は、早期発錆に繋がるため、目視でさびの透けが確認された際は、追加で補修塗りください。
- ・塩害地域や被塗物である鋼材が一部崩れてしまっている厳しい腐食環境では、さびの孔が深いことが多いです。しっかりと内部まで塗料を入れ込むよう塗装ください。塗装できていない部分は、腐食抑制が難しく、早期発錆に繋がる可能性があります。
- ・状況に応じて水洗い等の処置を実施下さい。残存塩分が150mg/m²以上あると早期にさび等の不具合が発生する可能性があります。
- ・ダンジオーラE下塗においては、塗装場所の気温が-5℃以上であれば塗装可能です。ただし、気温が-5℃よりも低い場合、湿度85%以上の場合、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- ・下塗りと上塗りの塗り重ね時間が過ぎた場合、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで面粗ししてから、上塗りを塗装ください。ただし、発錆部については、膜厚減少による防食性低下の恐れがあるため、面粗し後に再度下塗りを塗装してから次工程の実施をお願いします。
- ・上塗りとして、ハイボン50ファインを使用する場合は、下塗りと上塗りの塗り重ね乾燥の上限は5日です。
- ・下地調整など塗装基準の詳細については、各施主様の指針書をご参照願います。
- ・かくはん時、高粘度ですが、作業に支障ありませんので、希釈は必ず5%以内をまもってください。
- ・洗い溶剤はラッカーシンナーをご使用ください。
- ・希釈時、シンナーをいれるとシンナーが浮いた状態になりますが、これは

特殊樹脂によるものであり、問題ありませんのでそのままかくはんしてください。

- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・強溶剤エポキシ樹脂塗料(ビュアエポキシ・変性エポキシ)の塗り重ねは、避けてください。
- ・没水部などへの適用は避けてください。
- ・塗料液に硬化剤を正確に入れ、十分かくはんし均一に混合した後、塗り残しが無いように塗装してください。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
- ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

製品安全に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。